

## 大船渡市「復興に関する市民意識調査」結果(概要版)

平成 25 年 10 月

## ●調査の目的

これまで(復興計画前期：平成 23～25 年度)取り組んできた復興施策に対する市民の意識を把握し、次年度以降において、市民と行政の協働によって本格化させる復興施策に反映するため、標記調査を実施しました。

## ●調査項目

復興計画の 4 つの柱(「市民生活の復興」、「産業・経済の復興」、「都市基盤の復興」及び「防災まちづくり」)ごとの施策の進捗、復興の本格化に向けて必要な施策などをお伺いしました。

## ●調査対象・配布回収方法

市内在住の 18 歳以上の市民(住民基本台帳から 5,990 人抽出)及び市外に避難している市民(128 人)を対象として、調査票の郵送配布・郵送回収により実施しました。

## ●調査期間

平成 25 年 8 月 26 日～9 月 15 日

## ●配布・回収状況

配布：6,088 票

(発送数 6,118 票から宛先不明などで配達されなかった 30 票を除く)

回収：2,839 票・回収率：46.6%

(平成 25 年 10 月 4 日現在)

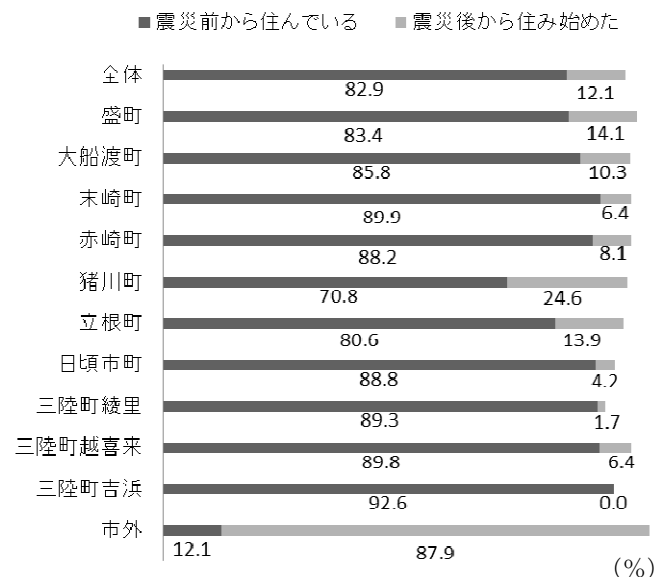
## 地区ごとの回収率(平成 25 年 10 月 4 日現在)

地区名	配布数	回収数	回収率
盛町	553	277	50.1%
大船渡町	1,352	596	44.1%
末崎町	688	328	47.7%
赤崎町	690	347	50.3%
猪川町	710	326	45.9%
立根町	631	288	45.6%
日頃市町	316	145	45.9%
三陸町綾里	409	177	43.3%
三陸町越喜来	401	189	47.1%
三陸町吉浜	214	81	37.9%
市内合計	5,964	2,754	46.2%
市外	124	58	46.8%
不明	—	27	—
合計	6,088	2,839	46.6%
有効回収票数		2,825	46.4%

※集計は、有効回収票 2,825 票を対象としています。

## 1. 回答者のお住まいの地区について

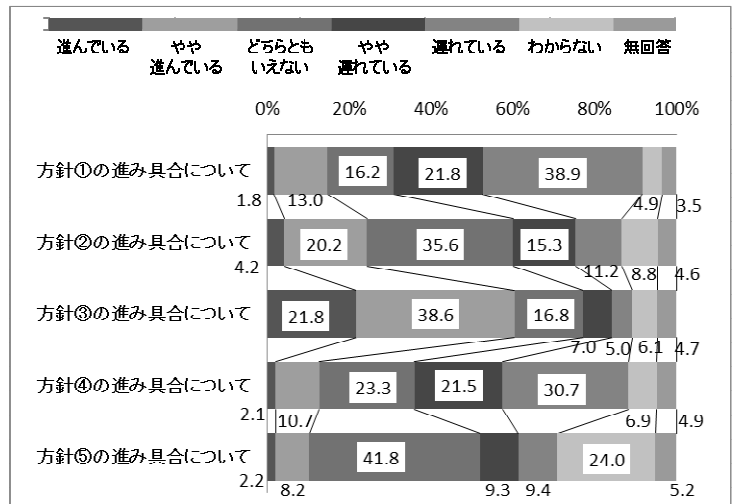
- ・ 震災前も後も同じ地区に住んでいる割合は 82.9%、震災後に前と違う地区に住み始めた割合は 12.1%です。
- ・ 盛町、猪川町及び立根町では、震災後に住み始めた割合が比較的高くなっています。
- ・ 特に猪川町においては、約 1/4 の回答者が、震災後に住み始めたと回答しています。



## 2. 復興計画前期（平成23～25年度）の復興の進み具合について

### 【市民生活の復興の方針】

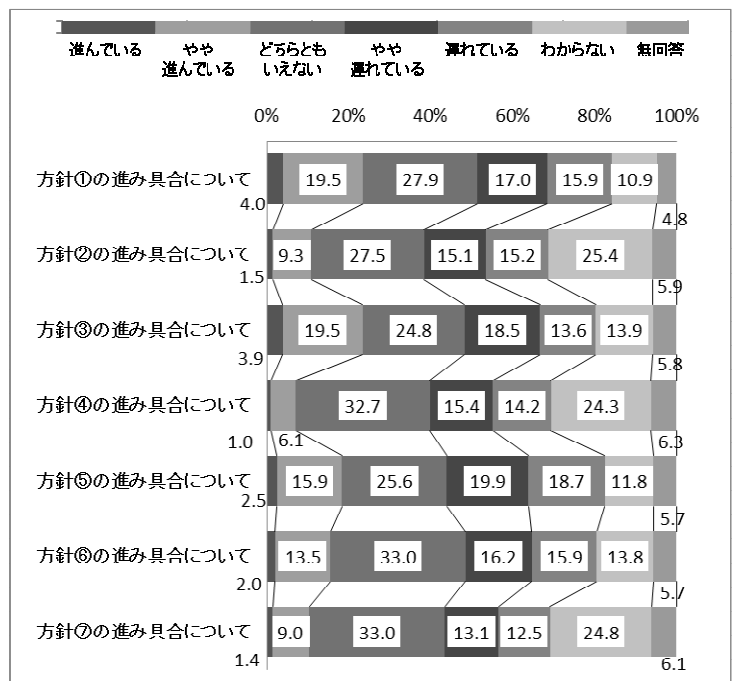
- 方針① 被災者の早期の住宅再建を支援するほか、地域コミュニティの維持・形成に配慮した、安全な生活環境を確保します。
- 方針② 市民が安心して暮らせるよう保健、医療、介護、福祉など生活に密接に関係する各種サービスの充実を図ります。
- 方針③ 災害廃棄物を適正に処理します。
- 方針④ 被災した教育施設の再建などにより、教育機会の確保を図ります。
- 方針⑤ 市民共有の財産である歴史・文化資源を活用して、うるおいと安らぎをつくりだします。



- ・ 「方針③ 災害廃棄物の処理」は進んでいると評価されていますが、「方針① 住宅再建支援」及び「方針④ 教育施設の再建」は遅れていると評価されています。

### 【産業・経済の復興の方針】

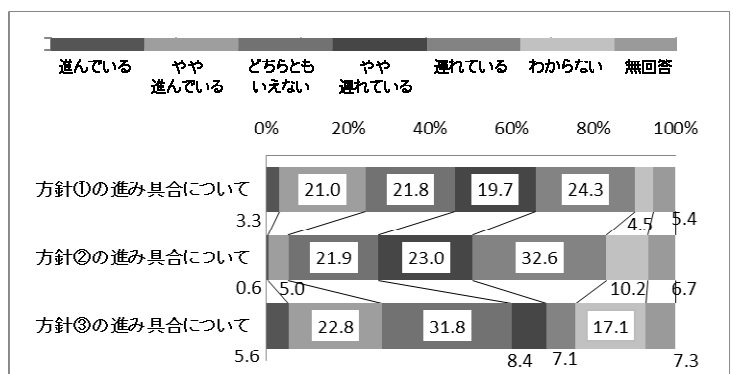
- 方針① 経済活動の早期再建を支援し、雇用の確保を図ります。
- 方針② 産業基盤を再建します。
- 方針③ 水産業の早期再建を図ります。
- 方針④ 農林業のあり方を検討し、振興策を見出します。
- 方針⑤ 商業の早期再建を図ります。
- 方針⑥ 観光産業の早期再建を図ります。
- 方針⑦ 地場産業の活力により、産業・経済を活性化します。



- ・ 全体として進んでいるという評価は低いですが、「方針① 雇用の確保」「方針③ 水産業の早期再建」はやや進んでいるとの評価もあります。

### 【都市基盤の復興の方針】

- 方針① 被災した都市基盤施設を早期に復旧するとともに、防災機能向上のために必要な整備を行います。
- 方針② 土地利用のあり方を検討のうえ見直します。
- 方針③ 情報通信基盤の整備を進めます。

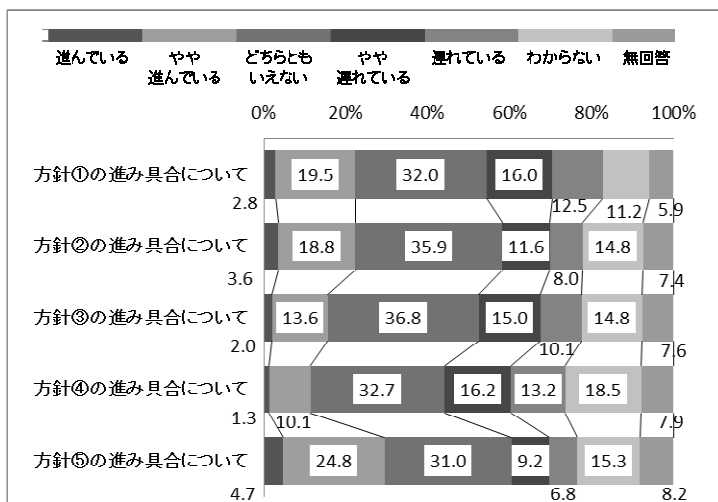


- ・ 「方針② 土地利用のあり方検討」は遅れていると評価されており、「方針③ 情報通信基盤の整備」はやや進んでいると評価されています。

## 【防災まちづくりの方針】

- 方針① 今回の災害による教訓を生かし、新たな防災体制を整えます。
- 方針② 防災教育や防災訓練を積極的に推進します。
- 方針③ 地域コミュニティ機能の維持・強化を図ります。
- 方針④ ライフラインや交通・物流などの機能を強化します。
- 方針⑤ 広域的な観点を重視した災害時の応援・サポート体制を整えます。

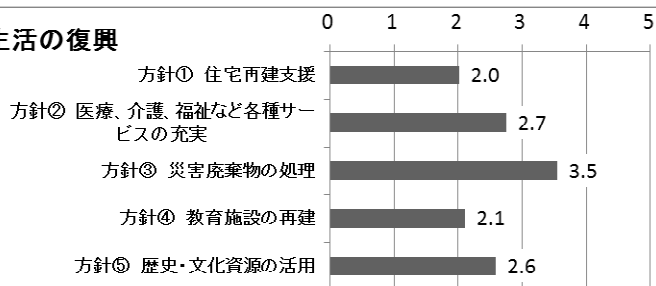
- ・ どちらともいえないとの評価が 30%以上となっています。
- ・ 「方針⑤ 災害時の応援・サポート体制の整備」は比較的進んでいると評価されています。



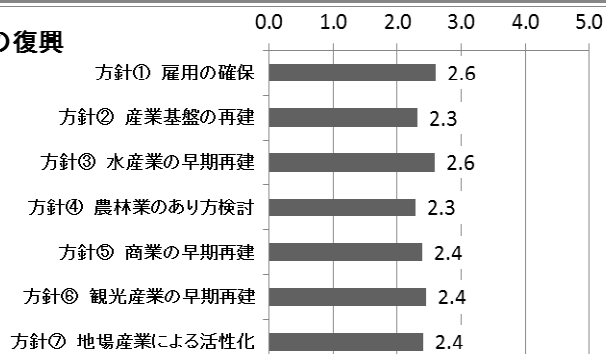
## 3. 復興の進み具合の5段階評価

- ・ 復興の進み具合の評価を5段階で点数化し、その平均値を方針ごとの評価点としたものです。
- ・ 復興計画の4つの柱ごとに、「進んでいる」を5  
「やや進んでいる」を4  
「どちらともいえない」を3  
「やや遅れている」を2  
「遅れている」を1  
「わからない」を0  
として、票数とそれぞれの評価数を乗じて点数を算出して合計し、5～1の評価を行った票数で除して算出しました。
- ・ 「災害廃棄物の処理」は比較的高い評価となっていますが、「住宅再建支援」、「土地利用のあり方検討」及び「教育施設の再建」は低い評価となっています。

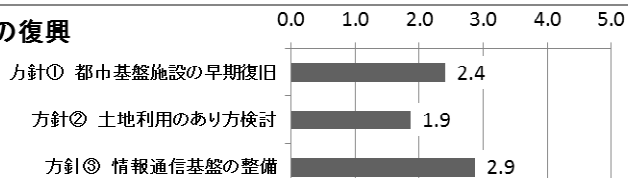
### 市民生活の復興



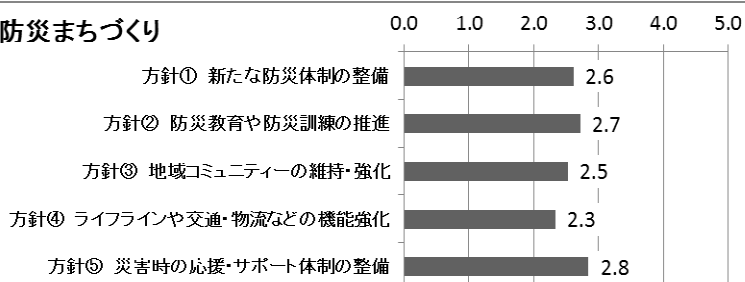
### 産業・経済の復興



### 都市基盤の復興

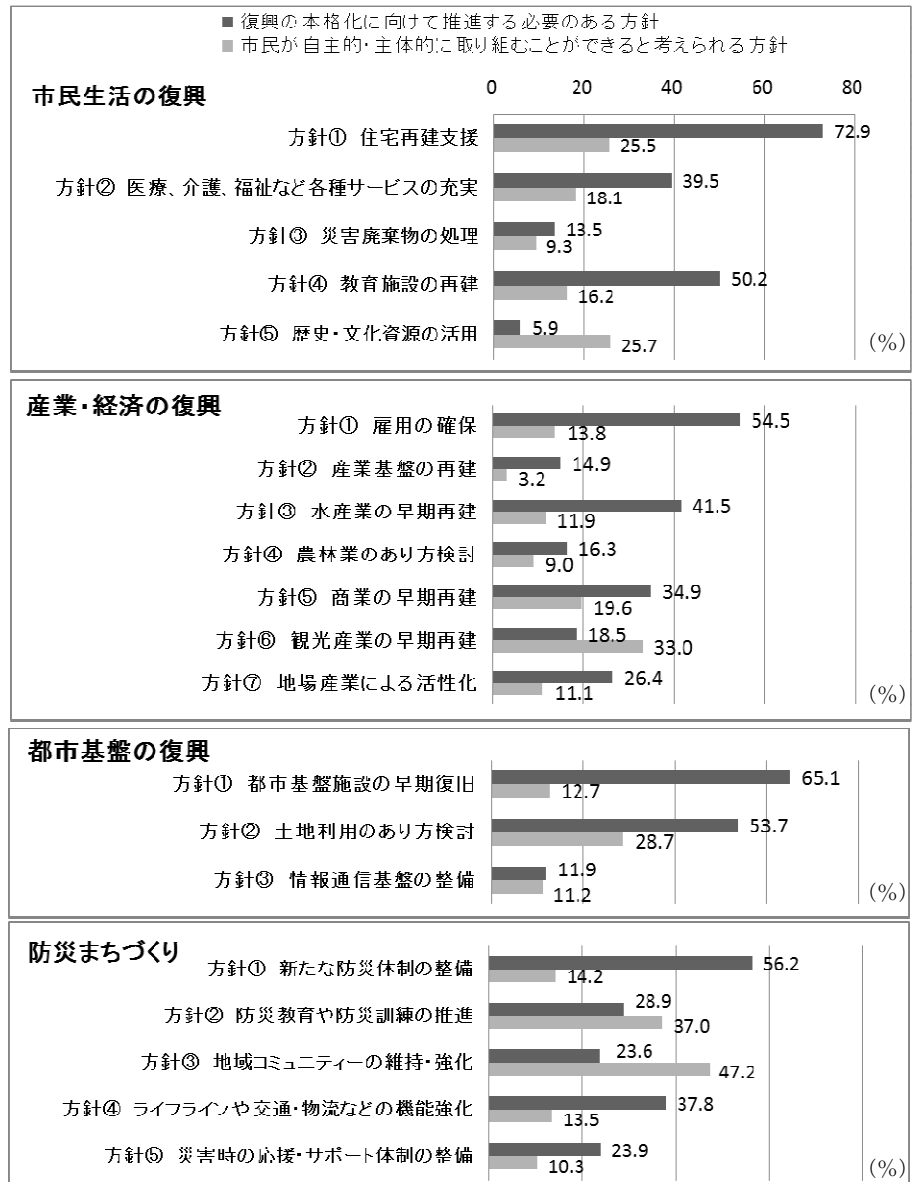


### 防災まちづくり



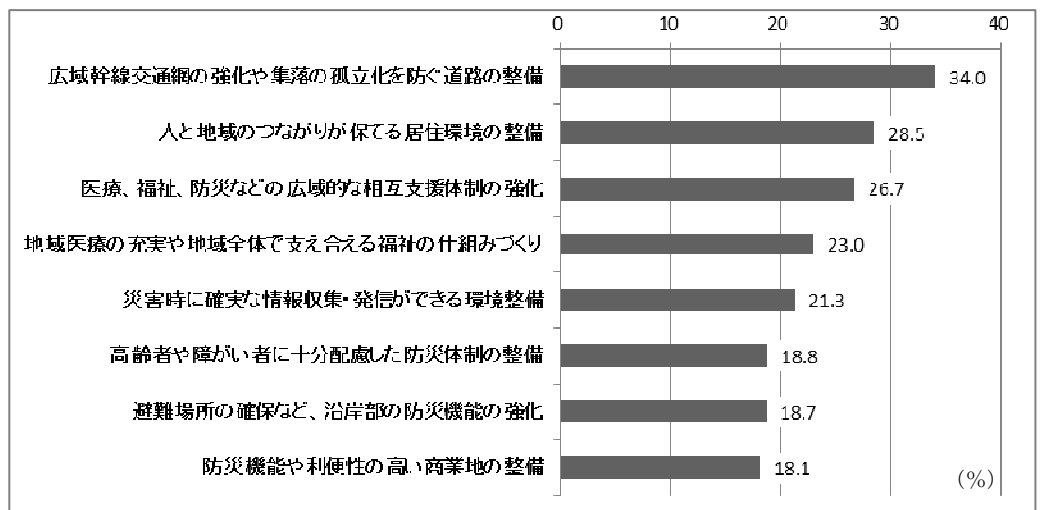
## 4. 復興の本格化に向けて特に推進する必要がある方針

- 特に推進する必要がある方針として、
  - 「住宅再建支援」
  - 「都市基盤施設の早期復旧」
  - 「新たな防災体制の整備」
  - 「雇用の確保」
  - 「土地利用のあり方検討」
  - 「教育施設の再建」
 があげられています。
- 市民が自主的・主体的に取り組むことができる方針として、
  - 「地域コミュニティの維持・強化」
  - 「防災教育や防災訓練の推進」
  - 「観光産業の早期再建」
  - 「土地利用のあり方検討」
  - 「歴史・文化資源の活用」
  - 「住宅再建支援」
 があげられています。



## 5. 大船渡市を被災前よりも発展するまちとしていくために必要な施策

- 復興の本格化に向けて、あるとよい施策の上位8位をみると、「道路の整備」、「居住環境の整備」、「広域的な相互支援体制の強化」など、居住環境や防災、福祉などの施策が重視されていることがわかります。



◎復興推進に向けて、782人（回収票の27.5%）の方々から、貴重なご意見・ご要望をいただきました。

◎ご多用の中、調査にご協力いただき、ありがとうございました。